

乳幼児の事故予防について(あなたの周りのヒヤリハットは?)

幼児期の死因の第1位は不慮の事故

子どもは、生まれてから日々いろんな事ができるようになります。特に1歳くらいまでの間は、上手に物をつかんだり、寝返りやお座り、ハイハイ、立ち、おしゃべり・・・と目覚しく成長します。そんな姿に家族は驚き、喜ばれることでしょう。

子どもはいろいろな物を見て、聞いて、触って、味わって、いろいろな事を全身で感じて大きくなっていきます。まさに子どもは好奇心のかたまりです。

そんな好奇心でいっぱいの子供達は、目の前の物や周りが危ないかも・・・なんて考えたりはしません。目についたものは、行ってみて、触ってみて、食べてみるなどしてしまいます。そして、思いもよらなかった事故が起きてしまう事があります。または、怪我や事故にまでは至らなくても、ヒヤリとしたりハットした経験(ヒヤリハット)をする事があるのです。



家庭で起きている事故やヒヤリハット

新生児(周囲の不注意によるもの)

事故	事故の主な原因	予防策
転落	洗濯機などからの転落	「ちょっとだから」と赤ちゃんを乗せない。
	上の子が抱っこしてけが	上の子と赤ちゃんを2人きりにしない。
窒息	上の子が物を食べさせる	離れる時は、赤ちゃんを連れて行く。
	柔らかい寝具や枕などによる窒息	固めのマットにする。ふわふわの枕は使わない。 ガーゼやぬいぐるみなど、ふとんの周りに置かない。

1~6か月(手足をバタバタ、寝返り、おすわりで移動)

事故	事故の主な原因	予防策
転落	ベッド・ソファから転落	ベッドガードの利用。柵をきちんとあげておく。
	お風呂のフタ・洗面台から転落	「ちょっとだから」と赤ちゃんを乗せない。
	寝返りでベランダへ移動	ベランダのドアは閉めておく。
誤飲 窒息	ティッシュ・石けん・洗剤の誤飲	テーブルの端や下、手の届く所に、原因の物は置いてありませんか?
	たばこ・医薬品・化粧品の誤飲	赤ちゃんのお口は500円玉より大きいです。
	コイン・豆などによる窒息	固めのマットにする。ふわふわの枕は使わない。 寝るときには、よだれかけ(ビブ)をはずしておく。
やけど	コンセント・テーブルクロスをひっぱり、熱湯やコーヒーお茶、汁をこぼす	コンセントカバーの利用。手の届かない所で電化製品を使用。テーブルクロスは使わないか引っ張れないようにする。 テーブルの真中にカップを置く。
	ストーブをさわる	ガードの利用。



7～12 か月（おすわり・ハイハイ・つかまり立ち・つたい歩き・ヨチヨチ歩き）

事故	事故の主な原因	予防策
転落 転倒	階段・ベッドから転落	ベッドガード、柵の利用。
	ベランダから転落	ベランダに踏み台になりそうな物を置かない。
	車の座席から転落	車に乗せたらチャイルドシートをすぐにつけ、車から降りるす直前までは外さない。
誤飲 窒息 中毒	引き出しの医薬品・化粧品	引き出しはストッパーをして開けられないようにする。
	ポケットの中のたばこ・コイン	ポケットの中に入れたままにしない。バッグは高い所にかけておく。
	お菓子・豆など	
溺水	浴槽・バケツ・洗濯機に落ちる	浴室のドアに鍵をかける。浴槽の水は抜いておく。洗濯機のフタをきちんと閉める。
	浴槽ですべる	すべり止めシートの利用。子どもだけで入らない。
はさむ	ドアと壁のすき間に指をはさむ	すき間カバーの利用。ドアの開け閉めはゆっくりと。
	アンダーカットのドアと床のすき間に足をはさみ、爪がはがれる	24 時間換気の家が多い。ドアを開ける時は向こうに子どもがいないか、注意して開閉する
やけど	コンセント・テーブルクロスをひっぱり、熱湯やコーヒーお茶、汁をこぼす	コンセントカバーの利用。テーブルクロスは使わないか引っ張れないようにする。 テーブルの真中にカップを置く。
	炊飯器・ポットの蒸気	手の届かない所で電化製品を使用。
	アイロンをさわる	子どもがいない（寝ている）時に使う。高い所へ置く。
	ストーブをさわる	ガードの利用。

1～5 歳（大人のマネをしたい・何でも自分でやってみたい・イヤイヤ期）

事故	事故の主な原因	予防策
転落 転倒	階段・ベッドから転落	ベッドガード、柵の利用
	ベランダから転落	ベランダに踏み台になりそうな物を置かない。
誤飲（中毒） 窒息	上記以外にいろいろな物が原因になる	開けてほしくない引き出しにはストッパーをつける。口に入れると危ない物は目や手の届く所に置かない。
	ビニール袋をかぶる	ビニール袋はたたんでしまう。
	口だけでなく、鼻や耳に入れることもある	鼻や耳に入りそうな小さい物は、目や手の届く所に置かない。用途がわかる年齢でビーズなどを使う場合には、親と一緒に遊ぶ。
溺水	浴槽・バケツ・洗濯機に落ちる	浴室のドアに鍵をかける。フタをきちんと閉める。
	浴槽ですべる	すべり止めシートの利用、子どもだけで入らない。
	プールでの水遊び	一緒に入る。または、その場から離れない。
はさむ	ドアと壁のすき間に指をはさむ	すき間カバーの利用、ドアの開け閉めはゆっくりと。
	ドアと床のすき間（アンダーカット）に足をはさみ、爪がはがれる	24 時間換気の家が多い。ドアを開ける時は向こうに子どもがいないか、注意して開閉する
	エレベーター・エスカレーター・自動ドアではさまれる	必ず手をつないで行動する。 ショッピングカートに乗せる。

やけど	コンセント・テーブルクロスをひっぱり、熱湯やコーヒーお茶、汁をこぼす	コンセントカバーの利用。テーブルクロスは使わないか引っ張れないようにする。 テーブルの真中にカップを置く。
	熱い鍋、グリルをさわる	ゲートの利用。他の人に子どもを見てもらう。
	炊飯器・ポットの蒸気、魔法瓶のお湯	手の届かない所で電化製品を使用。
	アイロンをさわる	子どもがいない(寝ている)時に使う。高い所へ置く。
	ストーブをさわる	ガードの利用。
	マッチやライターなどで火遊び	目や手の届く所やポケットに入れない。
	花火を足に向ける	花火を一緒に持つ。
交通事故	鍵を開けて、外へ出る	高い所に鍵をつける。
	車の駐車時にひかれる	駐車場で遊ばない。
	道路に飛び出す	手をつなぐ。

気をつけていても、ヒヤリハット

家族の方がいくら気をつけていても、起こる時は家族の目の前でも起こります。また、いつもとは違う人(家族)が子どもをみる時や自宅とは違う実家、友人宅もヒヤリハットはあります。

遊びに行く公園(すべり台・ジャングルジムからの転落、炎天下の遊具でのやけど)やいつも行くスーパーやデパート(駐車場・自動ドア・エレベーター・エスカレーター)さらには車の中(チャイルドシートからの転落・金具のやけど・車のドアが開く)なんかもあるようです。

安全対策グッズにも要注意

お店で売られている安全対策グッズについては、正しく取り付けたり正しく使用しなければ意味がありません。注意事項をよく理解した上で、使用しましょう。

ベッドガード(子どもの重さに耐え切れず転落、ベッドとベッドガードの間にはさまる)

コーナガード(はずす、口に入れる)

ベビーゲート(きちんと閉まっておらず転落、取り付けが不十分で転落)

お兄ちゃんやお姉ちゃんがいるからとあてにしないで

いざと言う時には大人でもうろたえたりと、とっさに動く事は難しいことがあります。それをお兄ちゃんやお姉ちゃんにまかせることは、とても危険な事です。特に、入浴について、子どもだけでさせる事は大変危険です。鼻と口が浸かってしまう数cmの水でもおぼれますので、油断できません。



相談先

応急手当	けが・出血をした時	清潔なガーゼをあて圧迫。大きな傷や深い傷、出血が多い時は病院へ。
	やけどをした時	すぐに流水で冷やす。水ぶくれや広い範囲の場合は病院へ。
	頭をうった時	直後に大泣きし、吐いたりけいれんがなければ安静にして24時間様子を見る。こぶは冷たいタオルで冷やす。 うとうと、ぼーっとする、ぐったり、顔色が悪い、吐く、けいれん、泣きやまない、機嫌が悪い時はすぐに119番へ
	その他	日本赤十字社ホームページ
相談先	かかりつけ医	岡山県医療機能情報提供システム
	休日・夜間当番医	岡山県災害・救急医療情報システム
	平日	岡山県内にお住まいのおおむね15歳以下のお子様

<p>(19時から23時) 土日祝日、年末年始 (18時から23時)</p>	<p>#8000番(または 086-272-9939) 小児救急医療電話相談(岡山県ホームページ)</p>
<p>中毒110番 (情報提供料:無料) タバコ・洗剤・医薬品 の誤飲に関する相談</p>	<p>(財)日本中毒情報センター 大阪中毒110番(24時間対応) 072-727-2499 つくば中毒110番(9時から21時対応) 029-852-9999 タバコ専用電話(24時間対応、テープによる情報提供) 072-726-9922</p>